

歌舞伎資料調査ハンドブック誕生！
専門的な経験と知識を必要とせずに目的の書物に辿り着く！

図説江戸の演劇書

旧書を全面改訂！

— 歌舞伎篇 —

早稲田大学坪内博士記念 演劇博物館 編 立命館大学教授 赤間亮 著

絶賛発売中！



図 パンフレット（狂言筋書） 安政7年（1860）
中村座上演「病桜瓢箪」(演劇博物館所蔵 口06-0077)

■ 図版総 273 点（カラー 36 点・モノクロ 237 点）

■ B5 判 ■ 240 頁 ■ 上製本 ■ カバー装

■ ISBN4-8406-9637-3 C3093 ■ 本体価格 5,800 円

■ 目次

図版編

解説編

I 江戸の演劇書について

一、「演劇書」／二、演劇書の研究史／三、出版史上での演劇書という分野認識の必要性／四、江戸の演劇書、既存の分類案／五、生成過程からみた「演劇書」分類方法の提案／六、江戸の演劇書の性格／七、演劇書研究の課題

II 種別解説

A 歌舞伎上演のための諸台帳（幕内資料）／B 読み物としての台帳類／C 手引きとしての筋書

◎ 番付の発生と展開 D 宣伝用幕内資料／E 顔見世番付／F 辻番付／G 役割番付／H 絵本番付（江戸）／I 歌舞伎絵尽（上方）

◎ せりふ・音曲正本の発生と展開 J せりふ正本とせりふ稽古本／K 浄瑠璃・長唄の正本・稽古本・段物集／L 評判記・劇書／M 幕内紹介書の誕生／N 役者絵本／O 役者絵年表

■ 本書の特長

- ・ 早稲田大学演劇博物館所蔵の演劇書を厳選、**273 点もの図版**を例示、詳細な解説を付す
- ・ 専門的な経験と知識を必要とせずに**自分の目的の書物に辿り着ける**よう編集
- ・ 江戸時代の歌舞伎のある演目、ある興行の記録を調べるのに、どのような種類の資料があり、それらはどのような関係にあるのかを**手軽に把握**できる
- ・ 本書は好評につき品切れだった早稲田大学演劇博物館発行の展示図録を全面改訂。新稿を追加し、図版原稿は全て新撮影した他、**カラー図版を多数収録**した

八木書店 出版部 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-8 TEL 03-3291-2961 FAX-2962
<http://www.books-yagi.co.jp/pub>【詳細書誌情報有】*消費税を別途お預かりします

■主な収録資料（全て早稲田大学演劇博物館所蔵）

台帳『唐相撲花江戸方』、附帳『鳴神』（衣装控・鬘附・小道具控）、衣装控『都座役者衣裳』、絵入狂言本（江戸版）「小栗鹿目石」、狂言筋書「= a 桜瓢箪 = b」、絵入狂言本（上方版）「石山寺誓の湖」、狂言読本「天満宮菜種御供」、役割番付「太平記八番続初日」、役割番付「鑑櫻古郷錦」、絵本番付「曜舞鶴曾我」、絵尽「八重九重遠山桜」、せりふ正本集『玉沢皆之丞誉詞』、せりふ集『せりふ大全』、せりふ正本「鎌倉殿風雅日記」『きやうげんせりふ』、絵入せりふ集『役者身振 氷面鏡』、一中節正本「十八公今様曾我」『夕霞浅間嶽』、常磐津正本「書初和曾我」『夢結峙野蝶』、幕内紹介『絵本戯場年中鑑』、役者絵本『役者夏の富士』、狂言絵本『寛延期江戸芝居狂言画本』

■本書の図版より（全て早稲田大学演劇博物館所蔵）



図2 歌舞伎上演のための台帳
寛政九年（一七七）度『都座役者衣裳』（衣装控）



図3 パンフレット（役割番付・江戸）
正徳二年（一七三）山村座上演「太平記八番続初日」



図4 せりふ正本 享保十九年（一七四）中村座上演
『鎌倉殿風雅日記』（きやうげんせりふ）



図5 幕内紹介書の誕生
安政六年（一八五）刊『御狂言楽屋本説』

■江戸の演劇書 関連年表（抄録）

※○は江戸、●は上方に関する記事

和暦年（西暦年）	記事
万治3（1660）	●現存最古の歌舞伎役者評判記『野郎虫』刊。
延宝頃	○伝存する最古の歌舞伎に使われた小歌の正本刊行される。
天和2（1681）	●この頃から上方の顔見世番付残る。
貞享初	○せりふ・浄瑠璃正本「（しかた浄瑠璃）」刊。
貞享4（1687）	●現存最古の上方絵入狂言本「あすか川」残る。
元禄初	○江戸の役割番付（紋番付）このころより発行され始めるか。
元禄10（1697）	○最初の江戸版絵入狂言本「参会名護屋」刊行される。
元禄12（1699）	●役者評判記『役者口三味線』、京都八文字屋より発行される。
元禄16（1703）	●歌謡集『松の葉』刊。
宝永7（1710）	●上方最古の歌舞伎台帳「心中鬼門角」残る。
正徳5（1715）	○現存最古の絵表紙せりふ正本「艾売り」刊。
享保4（1719）	○中本型芝居絵本、享保四年十一月市村座「立髪家■」発行される。現存最古の江戸絵本番付と見なされる。
享保15（1730）	○初代市川團十郎追善、役者忌辰録『父の恩』刊。
享保16（1731）	●このころ、京都の絵入狂言本、絵尽に変質する。
享保末	○この頃、江戸の辻番付発行され始めるか。
元文5（1740）	●京都の役割番付に江戸番付の影響を受けて、半紙二つ折りのものも発行されるようになる。
寛延3（1750）	●最初の歌舞伎百科事典『古今役者大全』刊。
明和6（1769）	○役者名鑑『明和伎鑑』刊。
明和7（1770）	○勝川春章・一筆斎文調筆『絵本舞台扇』刊行される。 ○この頃より、洒落本の形態を借りて演劇出版物が刊行され始める。
明和8（1771）	○芝居絵本、〈狂言絵尽〉（青本形態）に替わり〈狂言絵本〉（黄表紙形態）刊行され始める。
安永8（1779）	○小本型のせりふ正本、このころから出始めるか。
安永末	●役割番付附の絵尽、この頃から残る。
天明2（1782）	●上方役者絵本『翠釜亭戯画譜』刊。
寛政11（1799）	○役者絵本『俳優楽室通』刊行。以降、似顔役者絵本流行する。
享和2（1802）	●絵入根本、この頃から刊行はじまる。
文化11（1814）	●この頃、大坂にて『花鏡二巻咄』など鼠戻本流行する。
文政1（1818）	○この頃、大本の清元絵表紙正本刊行始まる。
天保10（1839）	○この頃、江戸の「鸚鵡石」刊行始まるか。
天保12（1841）	○この頃、大本の常磐津絵表紙正本刊行始まる。
天保14（1843）	●天保の改革の影響で、役者評判記の刊行中断する。
安政7（1860）	○中村座で筋書鸚鵡石（狂言筋書）の試みある。

※演博所蔵資料請求番号（表面）図1 □06-0077（裏面）図2 イ11-0835 図3 □18-0039 図4 □06-0074 図5 □14-0001

発行

八木書店 出版部

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8 ●TEL：03-3291-2961
●FAX：03-3291-2962 ●E-mail：pub@books-yagi.co.jp
●Web：http://www.books-yagi.co.jp/pub

取扱店

